

令和2年度決算に係る

定期監査
決算審査
資料

令和3年7月

福祉保健部健康医療局医療政策課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	1頁
	(2) 監査意見	1頁
	(3) 決算審査意見	1頁
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	職員の定員、現員調べ	2頁
4	役付職員の調べ	2頁
5	主な事業に関する調べ	3頁
6	決算資料(総括表)	6頁
7	事業別実施状況調べ	7頁
8	予備費の充用調べ	27頁
9	繰越関係調べ	27頁
	(1) 継続費通欠繰越調べ	27頁
	(2) 繰越明許費調べ	27頁
	(3) 事故繰越調べ	27頁
10	収入証紙取扱調べ	27頁
11	現金の取扱状況	27頁
	(1) 現金取扱状況	27頁
	(2) つり銭の状況	27頁
12	財産に関する調べ	28頁
	(1) 公有財産	28頁
	(2) 金券類の保有状況	29頁
	(3) 基金	30頁
	(4) 債権	31頁
13	財産の貸付け及び使用許可調べ	32頁
	(1) 土地及び建物	32頁
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)	33頁
14	借受不動産明細調べ	34頁
15	職員駐車場の管理状況調べ	34頁
	(1) 管理状況	34頁
	(2) 減免の考え方	34頁
	(3) 使用料の見直し	34頁
16	寄附物件の受納状況調べ	34頁
17	備品の処分状況調べ	34頁
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	34頁
	(1) 亡失、損傷の報告状況	34頁
	(2) 物品確認の実施状況	34頁
19	貸付金等状況調べ	35頁
	(1) 総括表	35頁
	(2) 償還状況	35頁
○	意見、要望等	38頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

監査意見	措置状況等
<p>2 電子カルテ相互参照システム(おしどりネット)の参加医療機関等の拡大について</p> <p>おしどりネットは、医療機関の診療情報(電子カルテ、検査結果、画像等)を他の医療機関で閲覧できるようにすることにより、患者と医療機関のどちらにも効率的で無駄のない医療を実現するネットワークシステムとして構築されてきたところである。</p> <p>しかし、県が運営費を補助して8年が経過したが、現在の県内医療機関の参加率は病院で56%、診療所で11%と十分に普及しているとは言えず、特に診療所では西部の17%に対して東中部では5%前後の参加率にとどまり、地域格差も見受けられる。</p> <p>また、令和4年度以降は運営費が地域医療介護総合確保基金の対象として認められなくなり、参加医療機関等からの負担金のみでの運営が必要となることから、参加への働きかけの妨げとなり、地域格差の固定が懸念される。</p> <p>については、県としてもおしどりネットのメリットを広く県民へ周知するとともに、医療機関、とりわけ診療所における電子カルテの普及促進も含めて、運営主体であるNPO法人鳥取県医療連携ネットワークシステム協議会とも連携して参加医療機関等の拡大に努められたい。</p>	<p>NPO法人鳥取県医療連携ネットワークシステム協議会においては、令和2年度よりホームページやチラシを作成するとともに、薬剤師会等の関係団体への説明会を継続して実施するなど、システムのPRの強化に取り組んでいるところであり、県においても新聞広告、県ホームページへの掲載や東部保健医療圏地域保健医療協議会でシステムの概要説明を行うなど、県民・関係機関への周知に取り組んでいる。</p> <p>さらなる参加医療機関の拡大に向けて、県とNPO法人で必要な取組内容を適宜協議しながら引き続き連携して実施していく。</p> <p>＜NPO法人の主な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民向けホームページの作成・公表(R2.7～) ・おしどりネットの使用実例についてYouTube動画を配信(R2.10～) ・患者向けチラシ作成・配布(R2.12～) ・薬剤師会への説明会の実施(R3.2) <p>＜鳥取県の主な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞広告(日本海・山陰中央)の掲載(R3.2) ・県ホームページへの掲載・公表(R3.3～) ・東部保健医療圏地域保健医療協議会での概要説明の実施(R3.3)

(3) 決算審査意見

決算審査意見	処理状況等
<p>令和元年度の一般会計収入未済額の合計は19億8,487万円で、前年度に比べ1億6,939万円減少している。</p> <p>各債権所管課では、収入未済発生 of 未然防止や滞納初期における対応の徹底、また、滞納者への継続した督促や弁護士等への回収委託の活用など、債権管理事務取扱要領等に基づいて着実に取り組んでいると認められる。</p> <p>については、県税では、これまで以上に市町村・関係機関等と連携した滞納整理等の取組を推進し、税外収入では、債権管理事務取扱要領等に沿って、収入未済発生 of 未然防止など債権の適正な管理、回収に引き続き取り組まれたい。</p>	<p>収入未済額の主な内容は、看護職員修学資金返還金と理学療法士等修学資金返還金である。</p> <p>滞納者に対しては、継続的な督促を行うとともに、経済状況に応じて分割納付を勧奨するなどの取組を中心に債権管理に努めるとともに、回収が困難な案件については、早めに債権回収会社に債権回収業務を委託するなどの対応を行っている。</p> <p>また、修学資金の貸付に当たっては説明会等で修学生及び保護者に制度の説明と、返還の仕組み等について説明を行っており、引き続き、これらの取組を通じて、収入未済額の減少と収入未済発生 of 未然防止に努めていく。</p>

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	
定 員	13	13	4	4	0	0	17	17	
現 員	(1)	()	(51)	(44)	()	()	(52)	(44)	【病気休職】1名(事務) 【育児休業】1名(医師) 【派遣】 50名(医師) (派遣先/人数の内訳) ・鳥取県立中央病院/15名 ・鳥取県立厚生病院/8名 ・鳥取市立病院/1名 ・佐治町診療所/1名 ・岩美病院/4名 ・智頭病院/4名 ・名和診療所/1名 ・西伯病院/2名 ・日南病院/2名 ・日野病院/2名 ・鳥取赤十字病院/1名 ・鳥取大学医学部附属病院/6名 ・米子医療センター/2名 ・兵庫県立こども病院/1名
過不足(△)	3	2	49	42	0	0	52	44	
臨時的 任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度 任用職員	3	3	0	0	0	0	3	3	会計年度任用職員(事務員)3名

4 役付職員の調べ

(令和2年7月1日現在)

職 名	氏 名	在職期間		備 考
		年	月	
課 長	笠見 孝徳	0	3	4年 3月
医療人材確保室長	福井 恒	0	3	
参 事	角田 智玲	0	3	
課 長 補 佐	山内 宏悦	1	3	
課 長 補 佐	西尾 務	3	3	
課 長 補 佐	森下 和也	1	3	3年 3月
課 長 補 佐	木原 直樹	1	3	4年 3月

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
医師確保奨学金等貸付事業	239,250				239,250
鳥取県地域医療支援センター運営事業	16,774			16,774	
鳥取大学医学部寄附講座設置事業	36,900			36,900	
医師確保対策推進事業	2,419				2,419
将来ビジョン			-		
令和新时代創生戦略			-		
政策項目			-		

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

全国的に医師不足が指摘される中、本県においても医師不足や医師偏在による問題が顕在化してきており、県の医療体制の維持、向上に支障を及ぼさぬよう、医師の確保を図る。

(イ) 事業の実施状況

(1) 医師確保奨学金等貸与事業

将来、県内の地域医療に従事する医師の養成に資するため、鳥取大学医学部入学者及び県内外大学医学部在学学生に対し、修学に必要な資金の貸付けを行っている。

(令和3年3月現在(単位:人))

奨学金の種類	定数	新規	継続	計
医師養成確保奨学金(地域枠)	鳥取大 5	5	21	26
医師養成確保奨学金(一般貸付枠)	県内外大 5	5	9	14
緊急医師確保対策奨学金(特別養成枠)	鳥取大 5	5	25	30
臨時特例医師確保対策奨学金(臨時養成枠)	鳥取大 14	14	60	74
	岡山大 1	1	5	6
	山科大 -	-	1	1
合計		30	121	151

(2) 鳥取県地域医療支援センター運営事業【鳥取県地域医療介護総合確保基金充当】

地域医療を担う医師のキャリア形成支援や医師不足病院の支援等、医師確保対策を総合的に推進するため、平成25年1月「鳥取県地域医療支援センター」を県と鳥取大学(医学部附属病院内)に設置。鳥取大学への委託により、県医師確保奨学金貸与者との面談、初期臨床研修・勤務等への助言のほか、医師不足調査、県医師確保奨学金貸与者データベースの作成、専門医の取得に必要な診療科別専門研修プログラムの立案への参画など活動を行った。

県内外の医学生・若手医師に、本県で医師として勤務することの実態やその魅力を感じていただけるよう、本県の医療情報等を電子メール・郵送等でPRする「とっとりドクターNavi」の運営を行うとともに、鳥取県の医療状況、地域医療の魅力、県奨学金制度等を発信する広報冊子「DOCTRI!」を発刊した。

(3) 鳥取大学医学部寄附講座設置事業【鳥取県地域医療介護総合確保基金充当】

地域医療に貢献する人材の育成のため、県の寄附により平成22年度から鳥取大学医学部に地域医療学講座を開設している。令和2年度は地域医療に関する講義、臨床実習、地域枠学生等との面談及び研究活動等を実施した。

(4) 医師確保対策推進事業

- 県内の医師確保を推進するため、問合わせのあった医師と交渉、及び県内医療機関へのあっせん紹介を実施した。
- 県内の医療機関の医師不足に対応するため、鳥取県医師登録・派遣システムにより、県内医療機関への派遣を行った。
- 県内外で広く活躍する、鳥取県に縁のある著名な医療関係者を鳥取県医療人材顧問として委嘱し、全国で開催される学会や研究会など様々な機会を通じて鳥取県の医療についての情報発信等をしていただいた。
- 県外医療機関における研修を通じて専門分野の医療を学び、研修後に県内医療機関で技術の伝達と後進の指導にあたっていただくため、医師1名を県外の医療機関へ派遣した。
- 県と各臨床研修指定病院が連携して研修医確保を推進するため、研修医確保事業の実施主体となる各臨床研修指定病院(8病院)及び県で構成する「鳥取県臨床研修指定病院協議会」に負担金を交付し、各種事業を実施した。

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

医師の県内への定着を図るため、医師養成確保奨学金貸与者の臨床研修は、県内の病院が管理を行う臨床研修に限定する条例改正を行った。(令和2年4月1日施行)

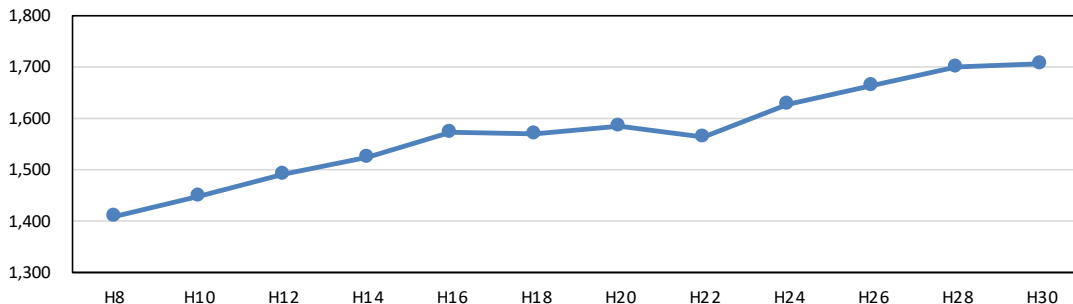
ウ 成果及び効果

様々な医師確保対策の実施により県内、医療機関の医師数は増加している。

【鳥取県の医療施設従事医師数の推移】 (単位:人)

調査年次	H8	H10	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26	H28	H30
鳥取県	1,411	1,449	1,492	1,525	1,573	1,570	1,585	1,565	1,627	1,662	1,699	1,707

※厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師調査(2年毎に実施)



(1) 医師確保奨学金貸与事業

医師確保奨学金の貸与により、県内医師の確保に繋がっている。

令和3年3月末現在(単位:人)

区 分	人数
医学生	151
	197
指定勤務期間中の医師	122
・県内就業中	104
・県外就業(猶予期間中)	18
返還免除者等	38
返還者等	37
合 計	348

(2) 鳥取県地域医療支援センター運営事業【鳥取県地域医療介護総合確保基金充当】

県医師確保奨学金貸与者との面談、初期臨床研修・勤務等について助言を行った。また、医師不足調査の実施、県医師確保奨学金貸与者データベースの作成、専門医の取得に必要な診療科別専門研修プログラムの立案への参画など活動を行った。

(3) 鳥取大学医学部寄附講座設置事業【鳥取県地域医療介護総合確保基金充当】

地域医療に貢献する人材育成と、地域医療の発展のため地域医療の実践と研究、教育を行うとともに、地域医療を志す医師の支援をおこなった。

(4) 医師確保対策推進事業

○問合わせのあった県内勤務希望の医師3名について、交渉及び県内医療機関へのあっせん紹介を行い、1名が県内に就業した。

○県内に就業する動機付けや研修先で得た最新医学の知見や手技の県内への導入を図ることにつながった。

○県内外の医学部生に鳥取県での初期臨床研修を希望していただけるよう、病院見学の際の旅費支援(学生延べ88名)や、先輩医師による勧誘活動への支援(学生延べ62名)を行い、令和3年度に県内で医師研修を開始する医師は51人となった。また、救急講習(ACLS、BLS、ICLS、JMECC)を受講した研修医延べ42名に講習参加費を助成し、応急手当の対応能力向上を支援した。

エ 課 題

・医師確保奨学金貸与者が今後増加する中で、奨学生が奨学金の返還免除要件に沿って県内で勤務できるよう、鳥取県地域医療支援センターと連携したきめ細かなキャリア形成支援が必要である。

・平成16年度の「新医師臨床研修制度」導入後、県内で初期臨床研修を希望する医師と臨床研修病院とのマッチ者数は減少傾向にあったが持ち直しつつある。県と県内臨床研修病院で組織する「鳥取県臨床研修指定病院協議会」と連携し、引き続き初期臨床研修医の確保の向上に取り組んでいく必要がある。

・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域医療体験研修推進事業、次世代医師交流事業等の実施が難しくなっており、医学生に対する地域医療マインドの醸成を図る取組が必要である。

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
鳥取県地域医療介護総合確保基金事業	616,066			616,066	
将来ビジョン			-		
令和新時代創生戦略			-		
政策項目			-		

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

団塊の世代が後期高齢者となる2025年の医療需要に対応するため、病床の機能分化・連携、在宅医療・介護の推進、医師・看護師等の医療従事者の確保、勤務環境の改善、地域包括ケアシステムの構築といった「医療・介護サービスの提供体制の改革」が急務の課題とされている。これらの医療・介護サービスの提供体制改革を推進するため、「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」により鳥取県地域医療介護総合確保基金を財源として都道府県計画に基づいた事業を実施することで、地域医療の課題の解決を図る。

(イ) 事業の実施状況

国より交付された「医療介護提供体制改革推進交付金」及び都道府県負担分を財源として鳥取県地域医療介護総合確保基金を造成した。(国:2/3、県1/3)

また、国より示された「地域における医療及び介護を総合的に確保するための基本的な方針」に即した都道府県計画を策定し、主に以下の事業に取り組んだ。

事業区分	主な事業
1. 地域医療構想の達成に向けた事業	○急性期機能の充実のために必要な設備整備〔病院〕 ○病院間の電子カルテの相互参照システム(おしどりネット)の運営費の支援〔NPO法人鳥取県医療連携ネットワークシステム協議会〕 など
2. 居宅等における医療の提供に関する事業	○在宅医療推進のために必要な施設設備整備〔医療機関〕 ○在宅医療連携室が実施する患者と医療機関との調整・相談業務等を通じて、県内の在宅歯科医療の提供体制強化に対する支援〔県歯科医師会〕 など
3. 医療従事者の確保に関する事業	○病院内保育所の運営〔病院内保育所運営病院〕 ○医師クラーク等の配置〔病院等〕 ○医療従事者が働きやすい職場づくりを支援する鳥取県医療勤務環境改善支援センターの運営〔鳥取県医師会へ委託〕 ○分娩を行う医療機関の助産師及び看護師が緊急呼び出し(オンコール)に備えて待機した場合に支給する手当の支援〔産科医療機関〕 ○小児の急な傷病に対する電話相談ができる体制を整備〔県〕 など

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

特になし

ウ 成果及び効果

病床の機能分化・連携、在宅医療・介護の推進、医療従事者の確保・勤務環境の改善など、地域医療に係る課題解決への取組を進めることができた。

(主な成果・効果)※H26年度以降

○病床転換による病床の機能分化やICTによる医療機関の連携ネットワークの整備が進んでいる。

- ・高度急性期・急性期から回復期への病床転換等:530床程度(H27.7→R2.7)
- ・県立中央病院に「心臓病センター」「脳卒中センター」を新設(H30)し、東部圏域における高度医療機能の集約化が進んだ。
- ・県立厚生病院に「がん患者支援センター」を新設(R1)したほか、鳥取赤十字病院の放射線治療棟を増改築(R2)し、東部・中部におけるがん治療の医療提供体制の強化が進んだ。

・電子カルテ相互閲覧システム「おしどりネット」の参加医療機関の拡大:21機関(H27.3)→94機関(R3.3)

○訪問看護師等の医療従事者の養成、在宅医療(歯科)連携拠点の整備、多職種連携推進のための研修実施、在宅医療の推進に必要な施設・設備の整備等により、在宅医療を推進する上での体制整備が進んでいる。

- ・在宅医療連携拠点の整備:3箇所(東部・中部・西部の各地区医師会)
- ・在宅歯科医療連携拠点の整備:4箇所(県歯科医師会及び東部・中部・西部の各地区医師会)
- ・県内訪問看護師数の増加:224人(H26.12)→347人(R2.12)

○院内保育所の運営や医師事務作業補助者の配置等に対する支援により、働きやすい職場環境の整備が進んでいる。

- ・院内保育所運営費の支援:8医療機関
- ・医療従事者の勤務環境改善への相談窓口(勤務環境改善支援センター)の設置:1箇所(県医師会に委託)
- ・病院勤務医師数の増加:1,088人(H27.1)→1,163人(R3.1)
- ・病院勤務看護師数の増加:5,412人(H26.12)→6,158人(R2.12)

エ 課題

国は地域医療構想達成のための病床転換につながるハード事業について重点的に配分する姿勢を示しており、訪問看護師養成事業や鳥取大学医学部の寄附講座など在宅医療や、人材育成のためのソフト事業に必要な財源が十分に確保できるかどうか懸念される。

また、本基金は次年度以降も継続して積み増しが予定されており、長期にわたる基金管理が必要となるため、各年度に造成した基金の執行管理を適切に行う必要がある。

6 決算資料

(単位:円)

区分	科目	予算			算現額		計	調定額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越財源充当額	繰越事業費 繰越財源充当額							
	衛生使用料	52,412,000	△ 8,046,000	0	44,366,000	42,400,100	42,400,100	42,341,900	0	58,200		
	行政財産使用料	1,189,000	0	0	1,189,000	1,151,960	1,151,960	1,151,960	0	0		
	衛生手数料	4,600,000	69,000	0	4,669,000	2,956,600	2,956,600	2,956,600	0	0		
	衛生費国庫負担金	303,456,000	94,782,000	0	398,238,000	398,238,000	398,238,000	398,238,000	0	0		
	総務費国庫補助金	0	0	0	0	8,000,000	8,000,000	8,000,000	0	0		
	衛生費国庫補助金	283,092,000	△ 2,064,000	0	281,028,000	223,448,000	223,448,000	223,448,000	0	0		
	財産貸付収入	1,677,000	0	0	1,677,000	1,518,108	1,518,108	1,518,108	0	0		
	利子及び配当金	95,000	0	0	95,000	97,175	97,175	97,175	0	0		
	地域医療介護総合確保 基金繰入	671,649,000	84,438,000	0	756,087,000	616,455,333	616,455,333	616,455,333	0	0		
	鳥取県医師確保奨学金 元利収入	31,440,000	△ 20,640,000	0	10,800,000	0	0	0	0	0		
	看護職員修学資金 貸付金元利収入	190,000,000	0	0	190,000,000	218,324,284	218,324,284	200,137,739	0	18,186,545		
	理学療法士・作業療法士 修学資金貸付金元利収入	30,000,000	0	0	30,000,000	38,087,000	38,087,000	32,044,000	0	6,043,000		
	雑収入	13,139,000	869,000	0	14,008,000	42,855,679	42,855,679	42,761,885	0	93,794		
	衛生債	30,000,000	0	0	30,000,000	26,000,000	26,000,000	26,000,000	0	0		
	合計	1,612,749,000	149,408,000	0	1,762,157,000	1,619,532,239	1,619,532,239	1,595,150,700	0	24,381,539		

(単位:円)

区分	科目	予算			算現額		計	支出済額 (決算額) B	支出済額の内訳		翌年 繰越 額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	繰越事業費 繰越額	支出 及 び 繰 越 額 流 用 増 減			本庁 出納機関				
	一般管理費	0	0	0	0	8,000,000	8,000,000	8,000,000	0	0	0	0	
	医務費	2,058,650,000	309,591,000	0	2,368,241,000	2,173,976,161	2,173,976,161	2,144,313,983	29,662,178	5,913,000	188,351,839		
	保健師等指導管理費	761,616,000	△ 32,686,000	0	727,548,060	720,848,775	720,848,775	720,773,475	75,300	0	6,699,285		
	病院費	2,959,492,000	△ 3,781,000	0	2,955,711,000	2,951,946,515	2,951,946,515	2,951,946,515	0	0	3,764,485		
	鳥取看護専門学校費	21,999,000	1,098,000	0	23,660,000	21,572,945	21,572,945	0	21,572,945	0	2,087,055		
	倉吉総合看護専門学校費	32,890,000	△ 1,131,000	0	32,577,940	31,152,024	31,152,024	0	31,152,024	0	1,425,916		
	合計	5,834,647,000	273,091,000	0	6,115,738,000	5,907,496,420	5,907,496,420	5,825,033,973	82,462,447	5,913,000	202,328,580		

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算現額			支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額					
【一般管理費】								
年末年始診療体制確保協力支援金	0	0	0	8,000,000	0	0	100%	年末年始期間に新型コロナウイルス感染症の疑いのある発熱等患者の診療を行う県内4か所の高層診療所に対して支援金を支給した。 【期間・支給額】 令和2年12月30日～令和3年1月3日の期間の診療日1日当たり50万円 ・ 東部医師会急患診療所 2,500千円 (5日間) ・ 中部休日急患診療所 1,500千円 (3日間) ・ 西部医師会急患診療所 2,500千円 (5日間) ・ 境港市曜日応急診療所 1,500千円 (3日間)
目計	0	0	0	8,000,000	0	0	100%	
【医務費】								
(医療行政費)	6,818,000	△ 3,480,000		3,338,000		440,297	86.8%	鳥取県医療審議会を開催し、保健医療計画の一部改定等について審議したほか、その他医療政策について検討した。 ・ 鳥取県医療審議会の開催 (第1回：令和2年12月9日、第2回：令和3年2月3日、第3回：3月17日)
医療機関管理費								衛生検査所における検査精度の向上を図り、適正な医療を確保するため、鳥取県精度管理委員会を開催し、県内の衛生検査所への立入検査等を実施した。
精度管理諸経費								(公社) 鳥取県医師会が行う外部精度管理調査事業に要する経費(検査試薬代等)の一部を補助した。また、医師会が開催する臨床検査精度管理委員会に係る経費(人件費、運営費)の一部を補助した。

事業名	予算現額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	繰越額	継続費及び 繰越事業費 額					
予備費 支出及び 流用増減					計 A				
地域保健医療推進費									保健医療圏毎（中部地区、西部地区）に設置している地域保健医療協議会（全体会・専門部会）において、鳥取県保健医療計画等の推進に関する協議を行う。 ※令和2年度の協議会は未開催
地域医療対策推進費									医療関係者等で構成する地域医療対策協議会を開催し、医療従事者の確保、医療機関の連携の推進等について検討した。 ・地域医療対策協議会の開催（第1回：令和2年12月4日、第2回：令和3年2月1日、第3回：3月12日）
歯科衛生専門学校入学試験実施費									県立歯科衛生専門学校の入学試験に関する事務を行う。
鍼灸等資格者施術所 証明書作成事業									あん摩マッサージ指圧師等の有資格者が開設し届出し施術所について、希望者に施術所届出済証明書（木製看板）を発行する。
災害医療対策推進費									○広域災害救急医療情報システム（EMIS）使用料 5,184,000円
とっとり医療情報 ネット運営事業									インターネット上で県民の方に医療機関等の情報提供を行う「とっとり医療情報ネット」の保守管理等の委託を行った。
死因究明等推進費									死因究明等推進協議会を開催し、死因究明体制の充実等に向け、県内の状況について関係団体等と情報共有を図る。 ※令和2年度の協議会は未開催

(単位：円)

事業名	予算現額				支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
令和2年度鳥取県 地域医療介護総合 確保基金造成事業 (医療分)	455,184,000	142,176,000	0	0	597,360,000	0	0	100.0%	鳥取県地域医療介護総合確保基金の令和2年度計画分(医療分)を造成した。
地域医療対策費 (医療施設等設備 整備費)	102,335,000	115,744,000	0	54,817,000	272,896,000	0	0	100.0%	「54,341,000は有床診療所等スプリンクラー等施設整備事業から流用 476,000は移植医療推進事業から流用」 医療施設等において必要な設備整備に要する経費を補助した。
地域医療対策費 (医療施設等施設 整備費)	4,884,000	0	0	1,498,000	6,382,000	0	0	100.0%	「1,498,000は有床診療所等スプリンクラー等施設整備事業から流用」 医療施設等において必要な施設整備に要する経費を補助した。
地域医療対策費 (医療施設等運営 事業費)	41,267,000	0	0	0	41,075,915	0	191,085	99.5%	○救急救命士病院実習受入事業 救急救命士に対する気管挿管の 実地実習を受け入れる病院に対 し、指導医の人的費用等運営費に ついて補助を行った。 ○周産期母子医療センター運営 事業 周産期母子医療センターの診療 機能、病床数及び過酷な勤務状 況にある医師・看護師等の確保 や処遇改善等の充実強化を図る ため、周産期母子医療センター の運営に必要な経費について補 助した。 ○鳥取県鍼灸マッソージ師会講 習会補助事業 鳥取県鍼灸マッソージ師会に対 し、鍼灸マッソージ師の資質向 上を図る講習会の実施に必要な 経費を補助した。

(単位：円)

事業名	予算現額					支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流入増減	計 A					
移植医療推進事業	16,980,000	0	0	△ 1,057,000	15,923,000	12,617,293	0	3,305,707	79.2%	「△476,000は地域医療対策費 (医療施設等設備整備費)へ流 用 △581,000は医療政策課管理運営 費へ流用」 (公財)鳥取県臓器・アイバン ク業務の円滑な遂行を図るた め、運営費に対して助成した。 また、骨髄移植医療の県民の理 解を深めるため、骨髄ドナー助 成の支給及びキャンペーン等普 及啓発を行った。
県立歯科衛生専門 学校費	53,751,000	△ 456,000	0	0	53,295,000	53,220,000	0	75,000	99.9%	鳥取県立歯科衛生専門学校の事 業の一部を(社)鳥取県歯科医 師会へ委託した。
周産期医療対策 業	13,087,000	0	0	0	13,087,000	12,116,844	0	970,156	92.6%	安心、安全な周産期医療提供 体制の整備に向け、搬送コーデ ィネーターの配置等の業務委託や 協議会の開催を行った。
有床診療所等ス ブ リンクラワー等施設 整備事業	126,850,000	△ 70,773,000	0	△ 55,839,000	238,000	0	0	238,000	0.0%	「△54,341,000は地域医療対策 費(医療施設等設備整備費)へ 流用 △1,498,000は地域医療対策費 (医療施設等設備整備費)へ流 用」 施設の防火対策を推進するた め、サブリンクラワー設置等の施 設整備事業を行う医療機関に対 して助成する。 不用額3割以上の理由：当初予定 されていた要望が全て取り下げ られたため。

(単位：円)

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
原子力災害医療体制整備事業	21,322,000	△ 7,423,000	0	0	13,899,000	12,865,808	0	1,033,192	92.6%	県が整備した放射線測定機器等の維持管理を行い、原子力災害時の医療体制の整備を図った。
持続可能な地域医療構想推進事業	6,286,000	△ 675,000	0	0	5,611,000	5,000,000	0	611,000	89.1%	○患者の受療動向や医療機関の診療実績等を適切に把握し、地域における医療提供体制の検討に繋げるため、レセプトデータの分析を行った。 ○地域医療構想調整会議(中部・西部圏域)を開催し、各構想区域における地域医療構想の推進に向けた協議を行う。 ※コロナの影響により、中部、西部圏域での開催なし ○東部圏域で開催された地域医療構想調整会議(令和2年9月23日、令和3年3月19日)に地域医療構想アドバイザーを派遣した。 ※WEB開催のため、派遣に係る旅費支給なし
へき地医療対策費	133,560,000	0	0	0	133,560,000	132,908,000	0	652,000	99.5%	へき地等の地域社会の医療の確保及び向上のために高度な医療能力を有する医師を養成することを目的に全都道府県の出資により設立された自治医科大学に運営費負担金を支出した。 また、へき地の地域住民に係る医療や保健指導の確保充実を図るため、へき地医療拠点病院やへき地保健指導所の運営に必要な経費を補助した。
災害派遣医療チーム体制整備事業	7,405,000	△ 7,405,000	0	0	0	0	0	0	0.0%	コロナ感染症拡大によりDMAT隊員等の医療従事者が参集して実施する研修(研修には実働が必要)は開催できなかったため。

(単位：円)

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
救急医療対策事業	3,529,000	0	0	0	3,529,000	2,759,000	0	770,000	78.2%	安全なドクターカーの緊急走行のために必要な、熟練した運転要員の確保に要する人件費等を補助した。 補助対象事業者：鳥取大学医学部附属病院 例年、県医師会が実施している救急医療の現場で働く医師・看護師・救急救命士等の資質向上を図るため、JPTIC（外傷現場活動指針）研修及びACLS（二次救命処置）は、コロナの影響により中止。
ドクターヘリ運航事業	93,091,000	19,551,000	0	0	112,642,000	108,213,576	0	4,428,424	96.1%	鳥取県ドクターヘリの運航経費に係る負担金等を支出した。ドクターヘリ格納庫の維持管理に必要な経費を支出した。関西広域連合が運航する公立豊岡病院ドクターヘリ、鳥根県が運航する鳥根県ドクターヘリ及び鳥取県が運航する医師搭乗型消防防災ヘリコプターの運航経費に係る負担金等を支出した。
(主) 医師確保奨学金等貸付事業	241,650,000	△ 2,400,000	0	0	239,250,000	239,250,000	0	0	100.0%	主な事業に関する調べのとおり
(主) 医師確保対策推進事業	4,301,000	△ 1,285,000	0	0	3,016,000	2,419,220	0	596,780	80.2%	主な事業に関する調べのとおり
医療政策課管理運営費	14,883,000	0	0	581,000	15,464,000	15,401,047	0	62,953	99.6%	「581,000は移植医療推進事業から流用」 課内外の連絡調整に係る事業である。
鳥取県看護専門学校内 部改修工事	29,120,000	0	0	0	29,120,000	25,920,400	0	3,199,600	89.0%	県立鳥取看護専門学校のトイレ、更衣室等の改修工事及び玄関の設置工事にかかる実施設計を行った。

(単位：円)

事業名	予算現額					支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
倉吉総合看護専門学校学生寮の 屋根防水改修、外壁改修、外部 建具等改修工事にかかる設計を 行った。	1,540,000	0	0	0	1,540,000	1,538,900	0	1,100	99.9%	倉吉総合看護専門学校学生寮の 屋根防水改修、外壁改修、外部 建具等改修工事にかかる設計を 行った。
おとなの救急電話 相談事業	2,817,000	△ 900,000	0	0	1,917,000	1,835,782	0	81,218	95.8%	○電話相談委託 救急車の適正利用、救急医療機 関の適正受診及び住民等の安心 の確保を図るため、おとなの 救急電話相談事業（#7119）を 運用した。 （平成30年度9月から事業開始） 電話相談件数：1,438件 委託先：株式会社法研
外国人患者に対す る医療提供体制整 備事業	1,625,000	△ 1,300,000	0	0	325,000	49,750	0	275,250	15.3%	外国人患者が適切に受診でき る環境を確保するため、多言語に 対応した翻訳機器等を整備する 医療機関（3機関）に対して補助 を行った。
災害派遣医療子 ども（DMAT）訓練実 施事業	4,840,000	△ 4,840,000	0	0	0	0	0	0	0.0%	コロナ感染拡大によりDMAT隊員 等の医療従事者が参集して実施 する研修（研修には実働が必 要）は開催できなかったため。
入院医療トリア ンセンター設置事 業	0	19,049,000	0	0	19,049,000	234,299	0	18,814,701	1.2%	新型コロナウイルスによる患者 の広域的（保健医療圏外、県 外）な入院調整のため重症度を 区分（トリアージ）するトリ アージセンターを運営し、患者 の症状に応じて、各医療分野の 専門医師等に参画・協力いただ き、入院可能な医療機関の把 握、入院調整や患者搬送の調整 を行った。
										不用額3割以上の理由：コロナ患 者が急増による広域搬送件数が 見込みより少なかったため。

(単位：円)

事業名	予算現額				支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
オンライン診療等 提供体制整備事業	0	18,775,000	0	0	18,775,000	0	10,568,000	43.7%	医療従事者、県民の方が安心して 診療を提供、受診できる環境 を整備するため、情報通信機器 等を活用した医療提供を行う医 療機関等の取組に対して補助を 行った。 不用額3割以上の理由：申請件数 が想定したより少なかったこと と、実績報告時の補助対象経費 の減による。
外国人患者に対す る医療提供体制制 急整備事業	0	8,333,000	0	0	8,333,000	0	6,379,070	23.4%	新型コロナウイルス感染症への 対応として、外国人患者の受入 れ拠点となる医療機関に対し て、翻訳ICT技術に対応したタ ブレット等の配備に係る補助を 行った。 不用額3割以上の理由：申請件数 が想定より少なかったため。
ECMO子一ム等養成 研修事業	0	1,500,000	0	0	1,500,000	0	1,500,000	0.0%	県内における新型コロナウイルス の感染拡大に備え、重篤患者 に使用する体外式膜人工肺 (ECMO=エクモ)を取り扱う 医療従事者の育成を支援する。 不用額3割以上の理由：国の類似 事業の活用により利用がなかつ たため。
新型コロナウイルス 又感染症対策に係 る学生支援事業	0	808,000	0	0	808,000	0	20,657	97.4%	独立行政法人日本学生支援機構 からの助成金を活用し、鳥取看 護専門学校、倉吉総合看護専門 学校及び備前看護専門学校 の学生に経済的支援を行った。

(単位：円)

事業名	予算現額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減 額					
(主) 鳥取県地域医療介護総合確保基金事業									
医療情報ネットワーク整備事業	8,446,000	14,876,000	0	0	22,143,000	1,073,000	106,000	94.9%	医療機関の相互ネットワークの構築により、病院・診療所間の切れ目のない医療情報連携を可能とするため、鳥取県医療情報ネットワーク「おしどりネット」の保守等の経費に対して補助を行った。
病床の機能分化・連携推進基盤整備事業	35,000,000	30,675,000	0	0	13,629,000	0	52,046,000	20.8%	病床の機能分化、連携を推進するための施設・設備整備に対して補助した。 不用額3割以上の理由：事業要望の取り下げ等により、当初予定よりも申請額が減ったため。
在宅医療連携拠点事業	15,000,000	0	0	0	11,079,000	0	3,921,000	73.9%	地区医師会等が、在宅医療を提供する機関が連携するための圏域内での調整、支援を行い、在宅医療を提供する機関の連携拠点となつて、地域における包括的かつ継続的な在宅医療の提供体制を構築するための経費を補助した。
在宅歯科医療拠点・支援体制整備事業	20,000,000	0	0	0	16,452,000	0	3,548,000	82.3%	在宅歯科医療を推進するため、鳥取県歯科医師会等に設置された在宅歯科医療連携室の運営費を補助した。
病床の機能分化・連携推進のための研修事業	1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000	0.0%	急性期病院と回復期病院の機能分化、在宅医療の普及啓発に関する研修に対して補助する。 不用額3割以上の理由：新型コロナウイルスの影響により予定された事業が中止となったため。
在宅医療推進のための看護師育成支援事業	19,000,000	0	0	0	18,162,000	0	838,000	95.6%	在宅医療・看護の推進を図るため、在宅医療を意識した新卒看護師等を育成等に対して補助した。

(単位：円)

事業名	予算現額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
訪問看護師確保支援事業	43,935,000	△ 6,646,000	0	0	29,227,000	0	8,062,000	78.4%	訪問看護師養成講習会に看護職員を参加させる施設に対し、人件費の助成等を行った。
訪問看護支援センター事業	13,030,000	0	0	0	11,995,243	0	1,034,757	92.1%	訪問看護師の養成、訪問看護ステーションへのコンサルテーション、県民への普及啓蒙等を実施した。
医療介護連携のための多職種連携等研修事業	4,515,000	0	0	0	2,253,000	0	2,262,000	49.9%	在宅医療に係る関連職種（医師、歯科医師、看護師、理学療法士等）の理解を深めるための多職種連携研修や各専門職の質の向上に資する研修、在宅医療・介護の連携を担うコーディネーターを育成するための研修等に対して補助した。
県東部保健医療圏のがん医療に係る病棟機能分化・連携促進事業	128,389,000	△ 64,091,000	0	0	64,298,000	0	0	100.0%	不用額3割以上の理由：新型コロナウイルスの感染拡大のため、一部事業者が事業を中止又はオンライン開催とした等の理由により、実績額が減ったため。
寄附講座（鳥取大学医学部地域医学講座）開設事業	36,900,000	0	0	0	36,900,000	0	0	100.0%	東部圏域におけるがん医療の機能分化の推進及びがん治療体制の強化を図るため、鳥取赤十字病院のがん診療に係る施設整備に対して補助した。
在宅医療推進事業	10,000,000	5,450,000	0	0	14,960,000	0	490,000	96.8%	訪問看護・在宅医療の充実、精神科在宅復帰等を推進するため、訪問看護、リハビリテーション等に必要な設備整備に要する経費を補助した。

(単位：円)

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
新人看護職員研修 事業	12,621,000	△ 919,000	0	0	11,702,000	11,293,000	0	409,000	96.5%	基本的な臨床実践能力を獲得する ための研修を実施する病院等に 補助した。
看護師等養成所運 営事業	62,102,000	△ 15,568,000	0	0	46,534,000	36,450,000	0	10,084,000	78.3%	県内の看護師等養成施設に対 し、運営費の補助を行った。 不用額1千万円以上の理由：1事 業者が決算の結果、赤字となり 補助対象でなくなったため。
看護職員実習指導 者養成講習会開催 事業	6,172,000	△ 1,680,000	0	0	4,492,000	799,950	0	3,692,050	17.8%	病院等における看護実習の指導 者を養成するための講習会の開 催を鳥取県看護協会へ委託し た。 不用額3割以上の理由：新型コロナ ウイルス感染症の影響により 講習会が中止となったため。
病院内保育所運営 事業	35,600,000	△ 3,131,000	0	0	32,469,000	29,369,000	0	3,100,000	90.5%	看護師等医療従事者の離職防止 及び再就業を促進するため、病 院内で保育所を運営する医療機 関にその運営費の補助を行っ た。
産科医等確保支援 事業	13,750,000	△ 594,000	0	0	13,156,000	10,857,000	0	2,299,000	82.5%	分娩を取り扱う産科・産婦人科 医及び助産師に対して、処遇改 善を目的として分娩取扱件数に 応じて支給される分娩手当及び 帝王切開に要する費用を補助し た。
助産師等待機手当 支援事業	3,000,000	△ 598,000	0	△ 234,000	2,168,000	1,922,000	0	246,000	88.7%	「△124,000は新生児医療担当医 確保支援事業へ流用 △110,000は周産期医療に関わる 専門的スタッフの養成事業へ流 用」 分娩を取り扱う助産師・看護師 に対して処遇改善を目的として 勤務時間外に支給される呼出待 機手当に要する経費を補助し た。

(単位：円)

事業名	予算現額				支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
救急勤務医支援 業	5,830,000	△ 256,000	0	0	5,143,000	0	431,000	92.3%	二次救急医療機関に勤務する救 急医の処遇改善を目的として、 休日・夜間において支給される 救急勤務医手当に要する経費を 補助した。
新生児医療担当医 確保支援事業	416,000	0	0	124,000	540,000	0	0	100.0%	「124,000は助産師等機手当支 援事業から流用」 NICUの新生児担当医の処遇 改善を目的として、NICUに 入院する新生児に応じて支給 される手当に要する経費を補助 した。
小児救急医療支援 事業	1,410,000	0	0	0	1,210,000	0	200,000	85.8%	小児救急医療に係る休日・夜間 の診療体制の整備に必要な経費 を補助した。
鳥取県地域医療支 援センター運営事 業	22,017,000	0	0	0	16,773,023	0	5,243,977	76.2%	主な事業に関する調べのとおり
小児救急地域医師 研修事業	461,000	0	0	0	418,818	0	42,182	90.8%	小児科・内科医向けの研修を 実施し、地域の小児救急医療体 制の補強・質の向上を図った。
小児救急電話相談 事業	10,940,000	0	0	0	10,109,056	0	830,944	92.4%	○電話相談委託 小児保護者の安心確保・救急医 療機関の負担軽減を図るため、 小児救急電話相談事業（#8000） を運用した。 運用日数：365日 電話相談件数：4,970件 委託先：ダイヤル・サービス株 式会社
次世代医師海外留 学支援事業	4,400,000	△ 800,000	0	0	3,600,000	0	0	100.0%	若手医師の県内就業を促進する とともに、県内医療水準の向上 をはかるため、若手医師に海外 留学資金の貸付けを行った。 対象者：1名 留学期間：H31.3～R2.12 留学先：アメリカ

(単位：円)

事業名	予算現額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
認定看護師及び認定看護管理者養成研修受講補助事業	7,000,000	△ 1,921,000	0	△ 2,000	5,077,000	0	3,466,000	31.7%	「△2,000は看護教育教材整備事業へ流用」 認定看護師及び認定看護管理者養成研修に研修派遣を行う医療機関に対して、研修費の一部を助成した。 不用額3割以上の理由：コロナの影響により中止となった研修会があり、要望の取り下げがあったため。
看護師の特定行為研修受講補助事業	5,000,000	0	0	0	5,000,000	0	308,000	93.8%	看護師の特定行為研修の受講に要する旅費、受講料、実習費を補助した。
実習指導者養成支援事業	2,513,000	△ 2,513,000	0	0	0	0	0	0.0%	看護学生への臨地実習指導を充実させるため、実習受入施設に対し実習指導者養成に係る経費を助成する。 ※新型コロナウイルス感染症の影響で事業が中止となったため2月補正で全額減額。
看護教員の質の向上支援事業	1,008,000	0	0	0	1,008,000	0	127,066	87.4%	県内の看護師養成所の教育の質の向上を図るため、看護教員に対する研修を実施する。
看護教員養成支援事業	6,234,000	△ 6,234,000	0	0	0	0	0	0.0%	不足している県内の看護師等養成施設の看護教員の確保及び看護教員の資質向上のため、看護教員養成講習会受講に係る経費を助成する。 ※対象者がなかったため、2月補正で全額減額。
周産期医療に関する専門的スタッフの養成事業	4,000,000	0	0	110,000	4,110,000	0	0	100.0%	「110,000は助産師等待機手当支援事業から流用」 周産期医療の充実を図るため、入院患者の家族支援を行う臨床心理士の確保に要する経費を補助した。

(単位：円)

事業名	予算現額					支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流入増減	計 A					
助産師資質向上支 援事業	400,000	△ 152,000	0	0	248,000	101,000	0	147,000	40.7%	新人助産師の実践能力向上のため の研修会の開催に係る経費を 補助した。 不用額3割以上の理由：コロナの 影響により、中止となった研修 会があるため。
勤務環境改善支 援センター運営事業	6,545,000	0	0	0	6,545,000	5,321,289	0	1,223,711	81.3%	医師・看護師等の医療従事者の 離職防止・定着促進を図ること を旨とし、勤務環境改善に取り 組む各医療機関に対して総合 的・専門的な支援を行うことを 目的とした鳥取県医療勤務環境 改善支援センター運営事業を鳥 取県医師会に委託し行った。
医師等環境改善 事業	18,900,000	16,750,000	0	0	35,650,000	30,438,000	0	5,212,000	85.4%	医師、看護師の勤務環境改善の ために必要な設備整備費や、医 師事務作業補助者の増員として、 作業補代行職員の増員とした場 合の人の人件費等に要する経費を補 助した。
鳥取県女性医師就 業支援事業	1,884,000	0	0	0	1,884,000	1,607,651	0	276,349	85.3%	育児等で一時的に業務を離れた 女性医師が復帰するための研修 プログラムを実施するとともに に、教育や交流を通じて女子医 学生や女性医師の就業継続への 意欲を高め、女性医師が継続し て働きやすい環境を整備するた め、鳥取大学に事業を委託し 行った。
臨床研修指導医講 習会開催事業	1,500,000	△ 1,500,000	0	0	0	0	0	0	0.0%	県内の指導医養成を促進するた め、厚生労働省が定める基準を 満たす指導医講習会の開催を鳥 取県臨床研修指定病院協議会に 委託し実施する。 不用額3割以上の理由：新型コロナ ウイルス感染症の影響により 中止したため。

(単位：円)

事業名	予算現額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
臨床研修医セミナー開催事業	840,000	△ 765,000	0	0	50,550	0	24,450	67.4%	本県の臨床研修の魅力を増し臨床研修医の確保を推進するため、著名な講師を招聘し、臨床研修医を対象とするセミナーを鳥取県臨床研修指定病院協議会に委託し実施した。
地域医療連携研究会開催支援事業	8,302,000	△ 2,549,000	0	0	277,550	0	5,475,450	4.8%	4 疾病6 事業に関して、地域の医療機関連携のもと実施する資質向上等のための研修会等の開催に対し、補助を行った。 不用額3割以上の理由：開催回数削減(1回)及び講師謝金・旅費、会場費の減によるもの。
県民への適正受診啓発事業	2,940,000	0	0	0	1,807,300	0	1,132,700	61.5%	小児救急ハンドブック・かかり方啓発リーフレットを配布し、県民に対して医療機関へのかかり方啓発を図った。 不用額3割以上の理由：救急講座講師報償費、旅費、ハンドブック・リーフレット作成の執行残
精神科医療機関機能分化推進事業	88,930,000	47,264,000	0	0	126,324,000	4,840,000	5,030,000	92.8%	精神科医療機関の機能分化を図るための施設整備に対して補助した。
地域医療支援病院・がん診療連携拠点病院等の患者に対する歯科保健医療推進事業	0	4,100,000	0	0	3,855,000	0	245,000	94.0%	地域医療支援病院やがん診療連携拠点病院における歯科保健診療に必要な設備整備に対して補助した。

(単位：円)

事業名	予算現額					支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
急性期医療充実施設 設備整備事業	0	58,513,000	0	0	58,513,000	49,275,000	0	9,238,000	84.2%	急性期医療を担う医療機関の基 盤整備を行い、充実した急性期 医療を提供できる体制を確保す るための必要な設備整備に対 して補助した。
訪問歯科衛生士養 成支援事業	0	1,000,000	0	0	1,000,000	276,000	0	724,000	27.6%	訪問歯科衛生士を養成し、口腔 ケアの指導や在宅歯科診療に従 事できる歯科衛生士を養成する ための研修の実施に対して補助 した。
女性医師就業環境 整備事業	0	404,000	0	0	404,000	0	0	404,000	0.0%	女性医師が働きやすい環境整備 を促進することにより、就業の 継続、復職を支援するため、女 性医師の就業環境の改善、充実 に必要なハード事業の実施経費 を補助する。
看護教育教材整備 事業	0	9,733,000	0	2,000	9,735,000	9,735,000	0	0	100.0%	「2,000」は認定看護師及び認定看 護管理者養成研修受講補助事業 から流用] 看護職員の養成に必要な図書・ 教材の整備を行う事業主体に対 して補助を行う。
歯科衛生士復職支 援事業	0	849,000	0	0	849,000	777,000	0	72,000	91.5%	出産・育児等の理由で離職した 未就業歯科衛生士の復職支援の ための研修会等に係る経費を補 助した。

(単位：円)

事業名	予算現額					支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
中部圏域における 安全安心な内預鑑 手技習得支援事業	0	4,895,000	0	0	4,895,000	4,545,000	0	350,000	92.8%	中部圏域で初期臨床研修医等の 技術向上等を図るための設備整 備を行う医療機関に対して補助 した。
預金利息等	1,595,000	0	0	0	1,595,000	798,987	0	796,013	50.1%	鳥取県地域医療介護総合確保基 金の預金運用益等の積立に係る 経費 不用額3割以上の理由：事業者の 報告に基づき返還された仕入控 除税額が、見込みよりも少な かったため。
目 計	2,058,650,000	309,591,000	0	0	2,368,241,000	2,173,976,161	5,913,000	188,351,839	92%	

(単位：円)

事業名	予算現額					支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計 A					
【保健師等指導管理費】										
保健師等教育研修事業	1,471,000	0	0	0	1,471,000	278,650	0	1,192,350	18.9%	進展する保健医療と住民のニーズが複雑化・多様化していることに対応するため保健師等に対し知識・技術獲得のための研修等を実施した。 不用額3割以上の理由：新型コロナウイルス感染症の影響により研修会の中止等となったため。
准看護師試験等実施費	955,000	0	0	0	955,000	309,665	0	645,335	32.4%	保健師助産師看護師法施行令に基づき、鳥取県准看護師試験を実施した。また、申請に対し免許証を交付した。 不用額3割以上の理由：コロナの影響により、例年より規模を縮小して試験を実施したため。
看護職員研修補助事業	2,600,000	0	0	0	2,600,000	2,600,000	0	0	100.0%	公益社団法人鳥取県看護協会による各種研修の実施に対して支援を行うことで、県内の看護職員の資質向上を図った。

事業名	予算現額				支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費額	予備費支出及び流用増減					
助産師出向支援事業	1,321,000	0	0	0	645,913	0	675,087	48.9%	医療機関における助産師就業の偏在や助産師実践能力の向上等を図るため鳥取県看護協会に委託し事業を実施した。 不用額3割以上の理由：助産師出向支援事業委託の精算による請負差額
看護職員等充足対策費	753,019,000	△ 32,686,000	0	△ 1,381,940	717,014,547	0	1,936,513	95.2%	「△563,000は鳥取看護専門学校管理運営費へ流用 △818,940は倉吉総合看護専門学校管理運営費へ流用」 県内に就業する看護職員等の確保及び離職防止のため、修学資金の貸付け、病院内保育施設の運営費補助等を行った。
認定看護師養成研修事業（単県）	2,250,000	0	0	0	0	0	2,250,000	0.0%	看護の専門分野において、熟練した看護技術と知識を持ち、水準の高い看護実践ができる認定看護師を積極的に養成し、県内の看護現場における質の向上を図る。 不用額3割以上の理由：コロナの影響で研修が中止になった等の理由で、当初予定されていた要望が全て取り下げられたため。
目計	761,616,000	△ 32,686,000	0	△ 1,381,940	720,848,775	0	6,699,285	99%	

(単位：円)

事業名	予算現額					支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
【病院費】										
自治体病院補助事業	92,192,000	0	0	0	92,192,000	92,191,242	0	758	100.0%	山間へき地の適正な医療を確保するため、当該地域に公立病院を設置する町に対し、病院整備事業企業債の返還利息の1/2を助成した。 対象病院：岩美病院、智頭病院、西伯病院、日南病院、日野病院
県立病院運営事業	2,867,300,000	△ 3,781,000	0	0	2,863,519,000	2,859,755,273	0	3,763,727	99.7%	地方公営企業法に基づき、県立病院に関する運営費等の必要経費を一般会計から病院事業会計に繰入れを行った。
目計	2,959,492,000	△ 3,781,000	0	0	2,955,711,000	2,951,946,515	0	3,764,485	100%	
【鳥取看護専門学校費】										
鳥取看護専門学校 管理運営費	21,999,000	1,098,000	0	563,000	23,660,000	21,572,945	0	2,087,055	98.1%	「563,000」は看護職員等充足対策費から流用 鳥取看護専門学校管理運営に要する経費
目計	21,999,000	1,098,000	0	563,000	23,660,000	21,572,945	0	2,087,055		
【倉吉総合看護専門学校費】										
倉吉総合看護専門学校 管理運営費	32,890,000	△ 1,131,000	0	818,940	32,577,940	31,152,024	0	1,425,916	94.7%	「818,940」は看護職員等充足対策費から流用 倉吉総合看護専門学校管理運営に要する経費
目計	32,890,000	△ 1,131,000	0	818,940	32,577,940	31,152,024	0	1,425,916	96%	
合計	5,834,647,000	273,091,000	0	8,000,000	6,115,738,000	5,907,496,420	5,913,000	202,328,580	97%	

8 予備費の充用調べ
該当なし

9 繰越関係調べ

(1) 継続費逐次繰越調べ
該当なし

(2) 繰越明許費調べ

(単位:円)

科目	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳		繰越理由
				既収入特定財源	一般財源	
				繰入金		
医務費	鳥取県地域医療介護総合確保基金事業費	756,117,000	5,913,000	5,913,000		医療情報ネットワーク等整備事業において、事業者と接続先との設計等における調整に時間を要し、事業完了が遅延した。また、精神科医療機関機能分化推進事業(設備整備)において、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の影響により、事業完了が遅延したため、繰り越すものである。
合計		756,117,000	5,913,000	5,913,000		

10 収入証紙取扱調べ

有 ・ 無

11 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況

(単位:円)

収入科目(節)	収入金額	件数(件)	備考
衛生手数料	151,500	25	准看護師免許証書換交手数料等
合計	151,500	25	

(2) つり銭の状況

該当なし

12 財産に関する調べ

(1)公有財産
ア 土地

(令和3年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	施設名等	所在地	前年度末			本年度異動状況			本年度末			備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)		価額(円)
	中央病院関連 用地	鳥取市江津字西皆竹 318-1 他	29,860.51	不明	増加						29,860.51	不明	
	保育専門学院	倉吉市南昭和町15	11,220.88	234,245,095	増加	R2.7.8	△ 11,220.88	△ 234,245,095	名称変更	R2.7.8	0.00	0	
行政財産	倉吉看護専門 学校	倉吉市南昭和町15	0.00	0	減少	R2.7.8	11,220.88	234,245,095	名称変更	R2.7.8	11,220.88	234,245,095	
	鳥取県ドクター ヘリ格納庫等	境港市佐斐神町字岡 ノ出口1500-4	1,096.71	5,030,000	増加						1,096.71	5,030,000	
計			42,178.10	239,275,095	減少		11,220.88	234,245,095			42,178.10	239,275,095	
普通財産	中央病院関連 用地	鳥取市江津字西皆竹 318-1、土橋370-1	5,415.71	不明	増加						5,415.71	不明	
計			5,415.71	0	減少		0	0			5,415.71	0	
合計			47,593.81	239,275,095			11,220.88	234,245,095			47,593.81	239,275,095	

イ 建物

(令和3年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	施設名等	所在地	前年度末			本年度異動状況			本年度末			備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)		価額(円)
	倉吉総合看護 専門学校	倉吉市南昭和町15	3,567.53	399,125,288	増加	R2.7.8	2392.11	246,550,748	名称変更	R2.7.8	5,959.64	645,676,016	保育専門学院 の名称変更による統合
	鳥取看護専門 学校	鳥取市江津260	1,468.58	205,727,434	減少	R2.9.11 R1.6.19	87.38 △ 31.81	0 0	所属換 取壊し	R2.9.11 R1.6.19	1,524.15	205,727,434	前年度記載漏れ
	鳥取看護専門 学校(自転車小 屋)	鳥取市江津260	19.05	3,267,600	増加	R2.10.24	19.08	3,219,700	新築	R2.10.24	19.08	3,219,700	
行政財産	歯科衛生専門 学校	鳥取市吉方温泉3丁 目751-5	832.29	220,185,759	減少	R2.8.29	△ 19.05	△ 3,267,600	撤去	R2.8.29	832.29	220,185,759	
	保育専門学院	倉吉市南昭和町15	2,392.11	246,550,748	増加						0.00	0	名称変更し、倉 吉総合看護専 門学校へ統合
	鳥取県ドクター ヘリ格納庫等	堺市佐斐神町字御休 所1500-4	395.10	263,652,830	減少	R2.7.8	△ 2392.11	△ 246,550,748	名称変更	R2.7.8	395.10	263,652,830	
計			8,674.66	1,338,509,639	増加		55.60	△ 47,900			8,730.26	1,338,461,739	
合計			8,674.66	1,338,509,639	減少		55.60	△ 47,900			8,730.26	1,338,461,739	

- ウ 山林 該当なし
- エ 不動産売却等 該当なし
- オ 財産の交換 該当なし
- カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし
- キ 物権 該当なし
- ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし
- ケ 有価証券 該当なし
- コ 出資による権利

(令和3年3月31日現在)

区 分	前年度末 (数量、金額)	本 年 度 中		本年度末 (数量、金額)	法 人 名	備 考
		増	減			
出資	円 198,000,000	円 0	円 0	円 198,000,000	学校法人自治医科大学	
出資	52,640,000	0	0	52,640,000	公益財団法人鳥取 県臓器・アイバンク	
合 計	250,640,000	0	0	250,640,000		

(2)金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和3年3月31日現在)

前年度未使用枚数	本年度中		本年度未使用枚数	備考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
枚 116	枚 0	枚 1 円 730	枚 115	

(3)基金

(令和3年3月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		増	減		
鳥取県地域医療介護総合確保基金	円 3,321,656,721	円 598,158,987	円 811,669,059	円 3,108,146,649	出納整理期間を含む年度末 現在高:2,491,691,316円
合計	3,321,656,721	598,158,987	811,669,059	3,108,146,649	

(4) 債権

(令和3年3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				本年度末		備考
	金額	件数	増		減		金額	件数	
			金額	件数	金額	件数			
	円		円		円		円		
行政財産使用料	305,500	8	0	0	127,960	1	177,540	7 ※前年度未戻り	
電柱・支線・配電線	(61,500)	(2)	(0)	(0)	(16,500)	(1)	(45,000)	(1)	
ガス本管施設	(30,160)	(1)	(0)	(0)	(7,540)	(0)	(22,620)	(1)	
電柱(線類共架)	(21,000)	(1)	(0)	(0)	(10,500)	(0)	(10,500)	(1)	
電柱・支線・支柱	(78,000)	(1)	(0)	(0)	(39,000)	(0)	(39,000)	(1)	
公衆電気通信施設設置	(57,000)	(1)	(0)	(0)	(28,500)	(0)	(28,500)	(1)	
自動販売機	(39,840)	(1)	(0)	(0)	(19,920)	(0)	(19,920)	(1) 倉吉総合看護専門学校	
電柱	(18,000)	(1)	(0)	(0)	(6,000)	(0)	(12,000)	(1) 倉吉総合看護専門学校	
財産貸付収入	29,458,432	4	0	0	1,518,108	0	27,940,324	4 ※前年度未戻り	
看護研修センター用地	(29,232,500)	(1)	(0)	(0)	(1,461,625)	(0)	(27,770,875)	(1)	
ガス供給のための施設設置	(30,160)	(1)	(0)	(0)	(7,540)	(0)	(22,620)	(1)	
ガス供給のための施設設置	(189,772)	(1)	(0)	(0)	(47,443)	(0)	(142,329)	(1)	
電力供給のため配置電線施設	(6,000)	(1)	(0)	(0)	(1,500)	(0)	(4,500)	(1)	
看護職員修学資金等貸付金	4,392,868,471	3,784	690,741,000	434	455,120,389	394	4,628,489,082	3,824	
医師養成確保貸付金	633,720,000	112	52,800,000	10	47,520,000	10	639,000,000	112	
臨時特例医師確保対策奨学金	820,650,000	105	137,850,000	15	0	0	958,500,000	120	
鳥取県医師海外留学資金貸付金	53,000,000	7	3,600,000	1	0	0	56,600,000	8	
緊急医師確保対策奨学金	385,200,000	46	48,600,000	5	0	0	433,800,000	51	
臨床研修医研修資金貸付金	21,600,000	5	0	0	9,600,000	2	12,000,000	3	
合計	6,336,802,403	4,071	933,591,000	465	513,886,457	407	6,756,506,946	4,129	

13 財産の貸付け及び使用許可調べ
 (1) 土地及び建物
 ア 土地

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	電力供給に伴う配電線施設	鳥取市江津字土橋370-1	電柱1、支線1	H31.4.1~ R6.3.31	H元.4.1	H31.4.1~ R6.3.31	年額 3,000	3,000	鳥取市新品治町1-6 中国電力(株)鳥取営業所長	更新 文書ID:18-00318803
		鳥取市秋里字松下617-4	電柱1	H31.4.1~ R6.3.31	H元.4.1	H31.4.1~ R6.3.31	年額 1,500	1,500		
		鳥取市江津字土橋370-1	電柱2、支線1	H31.4.1~ R6.3.31	S60.4.1	H31.4.1~ R6.3.31	年額 4,500	4,500		
		鳥取市江津字西皆竹330-1	電柱1、支線1	H31.4.1~ R6.3.31	H6.9.13	H31.4.1~ R6.3.31	年額 3,000	3,000		
		鳥取市秋里651-3	電柱1、支柱1	H31.4.1~ R6.3.31	H28.9.21	H31.4.1~ R6.3.31	年額 3,000	3,000		
行政財産	配電線4条	鳥取市秋里651-3	配電線4条	H28.10.3 R3.3.31	H28.10.3	H28.10.3~ R3.3.31	年額 1,500	1,500	鳥取市新品治町1-6 中国電力(株)鳥取営業所長	新規 文書ID:16-00084242
		鳥取市秋里707-1	電柱11	H29.7.10~ R4.3.31	H29.7.10	H29.7.10~ R4.3.31	年額 39,000	39,000		新規 文書ID:17-00078260
		鳥取市秋里707-1	支線9	H30.10.1	H30.10.1	H30.10.1~ R4.3.31	年額 10,500	10,500		新規 文書ID:18-00221607
		鳥取市秋里707-1	支柱5	H31.3.6	S60.4.1	H31.4.1~ R6.3.31	年額 7,540	7,540		更新 文書ID:18-00316211
		鳥取市秋里651-1	管路5.2m	H29.10.24	S63.4.1	H29.10.24~ R4.3.31	年額 28,500	28,500		更新 文書ID:17-00168846
計							102,040			
	鳥取県赤十字血液センター用地	鳥取市江津西皆竹318-1ほか	4,110.71㎡	R2.4.1	S55.12.24	R2.4.1 ~ R5.3.31	無償	無償	広島市中区千田町二丁目5番5号 日本赤十字社中四国ブロック血液センター	更新 文書ID:19-00300333
普通財産	看護研修センター用地	鳥取市江津西皆竹318-1	1,302.00㎡	R2.4.1	H2.4.10	R2.4.1~ R2.2.3.31	年額 ※3年ごとに 設定	1,461,625	鳥取市江津字西皆竹318-1 鳥取県看護協会会長	貸付料の算定 文書ID:19-00329956
		鳥取市江津西皆竹318-1	ガス本管5.5m、 ガバナー一室2.99 ㎡	H31.3.8	H13.8.1	H31.4.1~ R6.3.31	年額	7,540	鳥取市五反田町6 鳥取瓦斯(株)取締役社長	更新 文書ID:18-00316914
		鳥取市江津字土橋370-1 鳥取市江津西皆竹318-1	ガス本管74m、 ガバナー一室7.4㎡	H31.3.8	H4.8.17	H31.4.1~ R6.3.31	年額	47,443	鳥取市新品治町1-6 中国電力(株)鳥取営業所長	更新 文書ID:18-00317003
		鳥取市江津西皆竹318-1	電柱1	H31.1.22	H11.4.1	H31.4.1~ R6.3.31	年額	1,500	鳥取市新品治町1-6 中国電力(株)鳥取営業所長	更新 文書ID:18-00277678
計							1,518,108			
合計							1,620,148			

イ 建物
該当なし

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住所	氏名			
歯科診療椅子(ユニット一式)	2	スペーススラインスピリットタイプCU-370	R2.4.1 ～ R3.3.31	月額・年額 無償	無償	鳥取市吉方温泉3丁目751-5 一般社団法人鳥取県歯科医師会	鳥取市吉方温泉3丁目751-5 一般社団法人鳥取県歯科医師会	県立歯科衛生専門学校	授業等で必要な物品を貸し付けるため	
歯科診療椅子(ユニット一式)	4	ヨシダ ノバセリオ ステップタイプ2型	R2.4.1 ～ R3.3.31	月額・年額 無償	無償	鳥取市吉方温泉3丁目751-5 一般社団法人鳥取県歯科医師会	鳥取市吉方温泉3丁目751-5 一般社団法人鳥取県歯科医師会	県立歯科衛生専門学校	授業等で必要な物品を貸し付けるため	
歯科診療椅子(ユニット一式)	1	シグノタイプG20	R2.4.1 ～ R3.3.31	月額・年額 無償	無償	鳥取市吉方温泉3丁目751-5 一般社団法人鳥取県歯科医師会	鳥取市吉方温泉3丁目751-5 一般社団法人鳥取県歯科医師会	県立歯科衛生専門学校	授業等で必要な物品を貸し付けるため	
歯科診療椅子(ユニット一式)	1	モリタスペーススラインスピリットVXT	R2.4.1 ～ R3.3.31	月額・年額 無償	無償	鳥取市吉方温泉3丁目751-5 一般社団法人鳥取県歯科医師会	鳥取市吉方温泉3丁目751-5 一般社団法人鳥取県歯科医師会	県立歯科衛生専門学校	授業等で必要な物品を貸し付けるため	
合計					0					

14 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は積面	契約の状況			借受先		備考
					契約書の有無	借受期間	借料(円) 借価 単価 本年度の借料	住所 氏名		
土地	宅地	鳥取県立歯科衛生専門学校	鳥取市吉方温泉三丁目751番5	1655.08㎡	有	H21.7.15 ～ H22.3.31 (自動更新)	月額・年額 無償	鳥取県鳥取市吉方温泉3丁目751-5 一般社団法人鳥取県歯科医師会		
合計				1655.08㎡					0	

15 職員駐車場の管理状況調べ

該当なし

16 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

17 備品の処分状況調べ

(令和3年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	(保管機年月日) 取得年月日	不 用 決 定 年 月 日	処 分			備考
			売却 棄却 の別	売却方法・ 棄却理由	処 分 年 月 日	
液晶プロジェクター 光重合器	H18.2.22 H28.3.31	R3.3.29	棄却	老朽化のため	R3.3.30	円 0 0
合計						円 0 0

18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 亡失、損傷の報告状況

有・無

(2) 物品確認の実施状況

有・無

19 貸付金等状況調べ

(1) 総括表

(単位:円)

貸付金の名称	貸付先	貸付額			本年度(元金のみ)			本年度末 現在貸付残高 (A+B)-(C+D+E)	備考
		前年度末現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	償還額 (C)	不納欠損額 (D)	償還免除額 (E)			
看護職員修学資金貸付金	看護師等養成施設在学生	3,184,585,124	551,301,000	184,378,989	0	161,066,650	3,390,440,485		
看護職員奨学金	鳥取大学医学部保健学科看護専攻 地域枠入学生	361,786,500	52,560,000	15,758,750	0	7,440,000	391,147,750		
理学療法士等修学資金貸付金	理学療法士、作業療法士及び言語療法 士養成施設在学生	846,496,847	86,880,000	32,044,000	0	54,432,000	846,900,847		
医師養成確保奨学金	鳥取大学医学部地域枠入学者等医学 部在学生	633,720,000	52,800,000	0	0	47,520,000	639,000,000		
臨時特別医師確保対策奨学金	鳥取・岡山・山口大学医学部鳥取県枠 入学者	820,650,000	137,850,000	0	0	0	958,500,000		
鳥取県医師海外留学資金貸付金	卒後10年目程度の若手医師	53,000,000	3,600,000	0	0	0	56,600,000		
緊急医師確保対策奨学金	鳥取大学医学部特別養成枠入学者	385,200,000	48,600,000	0	0	0	433,800,000		
臨床研修医研修資金貸付金	特定診療科従事希望初期臨床研修医	21,600,000	0	0	0	9,600,000	12,000,000		
合計		6,307,038,471	933,591,000	232,181,739	0	280,058,650	6,728,389,082		

(2) 償還状況

(看護職員修学資金貸付金)

(単位:円)

区分	貸付額		本年度			本年度末			備考
	前年度末現在貸付残高 (A)	本年度貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (G-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)	
元金	3,184,585,124	551,301,000	過年度分	16,697,351	2,945,006	0	161,066,650	13,752,345	3,372,253,940
			現年度分	185,868,183	181,433,983	0	0	4,434,200	
			小計	202,565,534	184,378,989	0	161,066,650	18,186,545	
利子			過年度分	0	0	0	0	0	
			現年度分	0	0	0	0	0	
			小計	0	0	0	0	0	
合計			202,565,534	184,378,989	0	161,066,650	18,186,545		

区分		貸付額		本年度					本年度末		備考
		前年度末現在貸付残高 (A)	本年度貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金		361,786,500	52,560,000	0	0	0	7,440,000	0	0	391,147,750	
利息				0	0	0	0	0	0		
				0	0	0	0	0	0		
				0	0	0	0	0	0		
合計				15,758,750	15,758,750	0	7,440,000	0	0		

(単位:円)

区分		貸付額		本年度					本年度末		備考
		前年度末現在貸付残高 (A)	本年度貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金		846,496,847	86,880,000	6,359,000	1,072,000	0	54,432,000	5,287,000	0	840,857,847	
利息				31,728,000	30,972,000	0	0	756,000	0		
				38,087,000	32,044,000	0	54,432,000	6,043,000	0		
				0	0	0	0	0	0		
				0	0	0	0	0	0		
				0	0	0	0	0	0		
合計				38,087,000	32,044,000	0	54,432,000	6,043,000	0		

(単位:円)

区分		貸付額		本年度					本年度末		備考
		前年度末現在貸付残高 (A)	本年度貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金		633,720,000	52,800,000	0	0	0	47,520,000	0	0	639,000,000	
利息				0	0	0	47,520,000	0	0		
				0	0	0	0	0	0		
				0	0	0	0	0	0		
				0	0	0	0	0	0		
合計				0	0	0	47,520,000	0	0		

(単位:円)

(臨時特別医師確保対策奨学金) (単位:円)

区分	貸付額		本年度					本年度末		備考
	前年度末現在貸付残高 (A)	本年度貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金	820,650,000	137,850,000	0	0	0	0	0	958,500,000		
利息			0	0	0	0	0			
小計			0	0	0	0	0			
過年度分			0	0	0	0	0			
現年度分			0	0	0	0	0			
小計			0	0	0	0	0			
合計			0	0	0	0	0			

(鳥取県医師海外留学資金貸付金) (単位:円)

区分	貸付額		本年度					本年度末		備考
	前年度末現在貸付残高 (A)	本年度貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金	53,000,000	3,600,000	0	0	0	0	0	56,600,000		
利息			0	0	0	0	0			
小計			0	0	0	0	0			
過年度分			0	0	0	0	0			
現年度分			0	0	0	0	0			
小計			0	0	0	0	0			
合計			0	0	0	0	0			

(緊急医師確保対策奨学金) (単位:円)

区分	貸付額		本年度					本年度末		備考
	前年度末現在貸付残高 (A)	本年度貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金	385,200,000	48,600,000	0	0	0	0	0	433,800,000		
利息			0	0	0	0	0			
小計			0	0	0	0	0			
過年度分			0	0	0	0	0			
現年度分			0	0	0	0	0			
小計			0	0	0	0	0			
合計			0	0	0	0	0			

